

環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、世界有数の多島美が広がる瀬戸内海や、リアス海岸が続く宇和海、西日本最高峰の石鎚山など、豊かで美しい自然に恵まれており、これらの自然環境を健全な姿で次の世代に引き継いでいくことは、私たちに課せられた極めて重要な責務です。

本県では、「愛のくに 愛顔（えがお）あふれる愛媛県」を基本理念とする「愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～」を策定したところであり、環境分野についても「環境を守り自然と共生する社会の実現」を政策目標に掲げ、「地球温暖化対策への取組み」、「循環型社会の構築と良好な生活環境の保全」および「自然との共生」の三つの施策を設定し、各種事業を積極的に展開しています。

特に、近年、深刻化する地球温暖化対策については、自動車メーカーとの包括連携協定の締結、県内金融機関と連携したコンソーシアムの設立等により、気候変動対策や環境保全と県内の経済活動との好循環による持続可能な地域づくりを強力に進めているほか、瀬戸内海と宇和海の環境保全では、立入困難海岸における漂着ごみ回収に新たに着手するなど、海洋ごみ対策にも着実に取り組んでいるところです。

今後とも、県民の貴重な財産である自然環境を守り、全国に誇れる環境先進県の実現に努めて参りますので、皆様方の更なる御理解と御協力をお願いいたします。

この「愛媛県環境白書」を通して、皆様方の環境問題に対する関心と理解が深まり、環境の保全に向けた活動の一層の促進につながりますことを期待申し上げます。

令和7年3月

愛媛県知事 中村 時広